

病理診断科（人体病理学）

プログラムの概要

https://www.med.yamanashi.ac.jp/clinical_basic/pathol02/

病理診断科の研修は病理診断学の基礎知識と基本技術の習得に加えて、日常診療で遭遇する様々な疾患の病態生理を形態学的アプローチから理解することを目標としています。臨床研修の自由選択科として1ヶ月～11ヶ月間の選択ができます。病理医を目指す重点研修プログラムだけでなく、総合診療能力を高めたい研修医を対象とした基礎プログラムも用意し、研修ニーズに沿ったフレキシブルな対応を行っています。

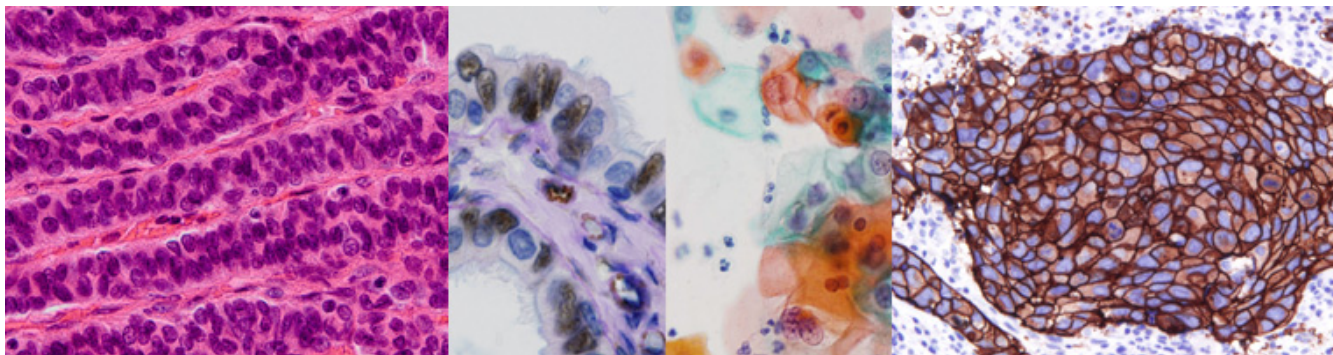
アピールポイント

我々の使命は病理を通じて医療を良い方向に前進させること。

1. 安心、安全の医療を提供するために高精度の病理診断を行っています。
2. 病理はがんゲノム医療の一翼を担っています。
3. 信頼される病理であるため各診療科との連携を強化しています。
4. 穏やかで充実した研修ができる体制、アメニティーを整えています。
5. 愛と情熱をもった専門医、専攻医が待っています。

具体的な研修内容

初期研修医が診断を担当する平均的な症例数は外科材料切り出し25-50件/月、組織診80-100件/月、細胞診100-200件/月、病理解剖執刀2-4件/月、解剖報告2-4件/月です。病理専門医の監督下で病理検体の肉眼検査、標本切り出し、顕微鏡検査、報告書作成までを研修医が自ら行います。各診療科との合同カンファレンス、CPCでは担当症例の病理所見の提示、病理学的解説を研修医が担当します。研修期間内に病理診断学の基礎知識と基本技術を習得し、診断プロセス、治療選択、予後予測における病理診断の役割を経験します。



Pathology awakens you!